

追浜地区社会福祉協議会

発行人 会長 並木真弘
編集 広報部会

〒237-0068
横須賀市追浜本町1
サンビーチ追浜4F
TEL&FAX 046-865-2601

社協 *Oppama*
おっぱま

休止していた「シルバーエイジ新年のつどい」を、感染症を考慮して飲食を伴わない午前中のみ会として復活させました。また、コロナ禍でネット

復活させた事業

5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したのを受けて、休止や縮小していた事業の復活を模索するとともに、子どもへの支援や子どもとのつながりに活動を広げていった1年でした。

令和5年度の総括

5月22日(水)午後2時から、行政センターで、令和6年度追浜地区社会福祉協議会総会が行われました。発表された5年度の総括につき記します。

追浜地区社会福祉協議会

令和6年度総会

募集で10組限定としていた「親子サロンおっぱま」をコロナ前の人数制限のない事業として復活させました。

新しく始めた事業

コロナ禍で行なっていた生活困窮者に対する生活支

援にかえ、6月より学用品等を支援する「子ども生活支援」をスタートしました。また「小学校への出前授業」「ママケアへのボランティア派遣」など子どもとのつながりに活動を広げることができました。

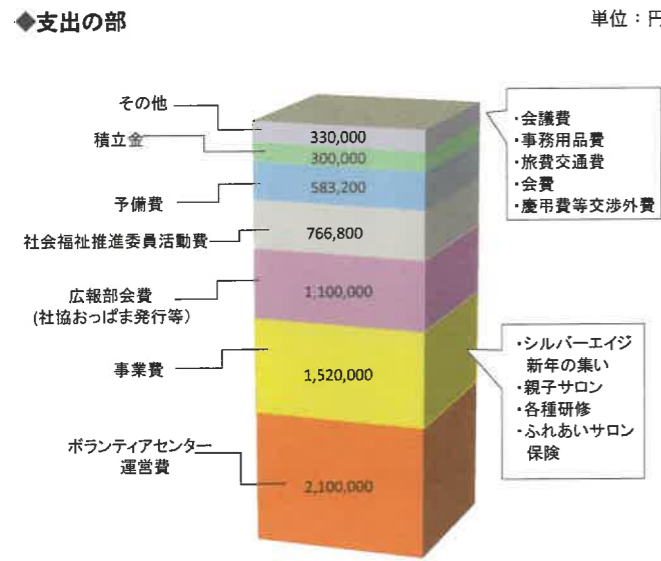
今後の課題

新しい事業が始められた一方で、「男の料理教室」など、できなかった事業もあり、「子ども生活支援」については物資の提供先に課題が残る活動となりました。追浜地区社協は、共同募金をはじめ、皆さまの寄付によって運営されている組織です。今年度も地域の皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和5年度 予算編成
令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆収入の部

科目	収入	内容	
交付金	4,023,871	地区社協育成費	424,000
		地域福祉活動事業費	1,464,256
		ボランティアセンター運営費	1,276,536
		社会福祉推進委員活動費	766,800
		社会福祉推進委員連絡部会育成費	50,000
共同募金地区協議費	42,279		
繰越金	2,109,723		
事業収入	450,000	かきごおり売上	
雑収入	116,406	寄付、利子等	
総収入	6,700,000		



「社協おっぱま」は、共同募金配分金を財源として発行しています。

いきいきサロン

ボラセン
だより

2月7日(水)、追浜小学校6年生と飲食店組合の方々と一緒に。

オカリナとコーラス発表

「いきいきサロン」オカリナとコーラス発表会

日時：3月27日(水) 10時30分～
場所：追浜コミュニティセンター4F音楽室

プログラム
オカリナ 広い野の岸辺・北の国から
コーラス (コールすずらん) 三つわらべ歌・さくらさくら
会歌 讃岐山



3月27日(水)、最後に参加者の方と一緒に7、8曲歌い、とても楽しい会になりました。

追浜行事カレンダー

6月

日付	曜日	開始時間	行事内容	会場
5-19	水	10:30	ボラセンいきいきサロン	追浜コミュニティセンター第1学習室
25	火	10:00	親子サロンおっぱま	追浜コミュニティセンター北館集会室

7月

3-17	水	10:30	ボラセンいきいきサロン	追浜コミュニティセンター第1学習室
14	日	11:00	おっぱままつり	追浜銀座通り商店街
23	火	10:00	親子サロンおっぱま	追浜コミュニティセンター北館集会室
未定	未定	未定	小学生映画祭	鷹取小学校 視聴覚室

8月

7-21	水	10:30	ボラセンいきいきサロン	追浜コミュニティセンター第1学習室
毎週	土	19:00	夏休み愛のパトロール	湘南鷹取全域
15	木	未定	追浜デー(県内野球交流戦)	横須賀スタジアム
27	火	10:00	親子サロンおっぱま	追浜コミュニティセンター北館集会室

9月

4-18	水	10:30	ボラセンいきいきサロン	追浜コミュニティセンター第1学習室
未定	未定	未定	子ども自転車教室	鷹取小学校グラウンド
24	火	10:00	親子サロンおっぱま	追浜コミュニティセンター北館集会室

上記の予定は変更になる場合もあります。

令和6年2月より
パパ・ママ応援「しゃべり場」を開設

場所
追浜ボランティアセンター

日時
毎月第4土曜日
10時～13時

しゃべり場
パパ・ママ応援

追浜地区社会福祉協議会/追浜ボランティアセンター
TEL:046-865-2601
〒237-0068 追浜本町1-4

浦郷小学校3年生による「ありがとう祭り」招待

ありがとう あんないじやう
日時：3月19日(水)19:35～20:20
場所：追浜地区社会福祉協議会 追浜ボランティアセンター
お楽しみ会も実施予定です。ご来場お待ちしております。
追浜地区社会福祉協議会 追浜ボランティアセンター
〒237-0068 追浜本町1-4

昨年の11月に総合学習の授業でボランティアに関するお話をしたお礼とのことでした。

多くの善意ご感謝

左記の方々よりご寄付をいただきました。

◎社協へ

- 匿名様
- 湘南病院様
- 追浜商盛会
- 代表理事 織田俊美様
- 追浜駅前ビル様
- 以上、12万円

◎子ども生活支援事業へ

- 松上スミ江様
- Yokosuka子ども食堂
- 斎藤優子様
- 以上、6万8千671円

合計18万8千671円の善意をいただきました。ありがとうございました。

友だち募集中

追浜地区社会福祉協議会
公式アカウントはじめました!

追浜地域の生活に役立つ情報をお届けします!

LINE @365wzms

・子ども生活支援
・地域のイベント
・親子サロン
・いきいきサロン

「第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム 横須賀おっぱま大会」を終えて

実行委員会委員長「NPO法人アクションおっぱま」

理事長 昌子住江

戦後70年以上が経ち、戦争経験者が少なくなる中で、戦争遺跡を遺しながら平和を考える「戦争遺跡保存全国シンポジウム」が毎年各地で開催されてきました。第25回記念大会が、一昨年8月、広島市で開かれた後に、主宰の「戦争遺跡保存全国ネットワーク」(本部署務局 長野市)から、第26回を横須賀市の追浜で出来ないかとの打診がありました。

「平和の町・おっぱま」を守っていく決意

実行委員会は昨年2月、「NPO法人アクションおっぱま」「おっぱまはつけんくらぶ」「貝山地下壕を保存する会」「追浜観光協会」「追浜銀座通り商店会」「追浜行政センター」の構成で発足しました。ほとんどの方は大会の参加経験がなく、「雲をつかむような話」で半年余りの準備期間は苦勞の連続でした。なお開催にあたって

ら集まる大会ですから、私たち(いち)NPO法人だけで対応できるかとの懸念がありました。地域のさまざまな方にご相談したところ、ぜひやるべきとお声が多く、開催を決断しました。開催を機に、地域の多くの方に戦争遺跡の存在を知っていただき、次世代につなげていく活動になればとの思いがありました。

は、横須賀市、横須賀市教育委員会、追浜連合町内会をはじめ多くの後援をいただきました。

令和5年9月16、17、18日の三日間、追浜コミュニティセンターを中心に開催された「第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム横須賀おっぱま大会」は、全国から延320人の参加があり、地元ボランティアア延101人(内学生30人)

でお迎えしました。16日の全体会、17日の分科会、さらに会場では追浜写真展やコロナ禍後久しぶりの懇親会も開かれました。また16日プレツアー(野島掩体壕、18日現地見学会(①第三海堡遺構・貝山地下壕コース②三浦半島に残る本土決戦の遺跡コース)では実際に戦跡を体験しました。

参加者からは、「おっぱま大会」は親しみやすく温かかったとの声が多くあり、地元スタッフからは「戦争遺跡を守り伝えようとする人がこんなにあくさんいるのか」「とても重いテーマなのに意外に明るかった」との印象が聞かれました。

大会は終わりましたが、実はここからが本当の始まりです。追浜に残る戦争遺跡をどう守り、伝えていくか。本大会でもっと多くの方に呼びかけるべきであったとの反省もあります。

これからも、やるべきことを、地道にやっていきたいと考えています。



17日閉会集会和挨拶する大会ボランティア



16日全体会の模様

視察報告

「国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)」

民生委員児童委員 齋藤和琴

令和6年2月14日、追浜地区の民生委員児童委員と追浜行政センターの担当の方合計24名で、横須賀市夏島町にある「国立研究開発法人 海洋研究開発機構(以下、JAMSTEC)」の視察を行いました。

JAMSTECは私の元職場です。研究広報部会で視察先を検討する際に、たまたま候補にあがったので、8年ぶりの視察という形で再びあの懐かしい岸壁に立つことができました。

夏島町とはいえ、市街地からは少し離れている場所にあるので、昼下がりののかなき空気の中、バスに揺られJAMSTECに着きました。建屋の前に広がる岸壁に「落っこちそうだ」と驚きの声があがりました。岸壁に接

岸された2隻の研究船の迫力に大興奮の様子でした。

職員の方々の説明を受け、前職でお世話になった先輩方のガイドを受けながら視察が進みます。

海底広域調査船「かいめい」の前で記念撮影をしました。「かいめい」は海底に埋まっている資源を調査する船です。

JAMSTECは6隻の研究船を有し、調査の目的により使い分けています。

次の海洋科学技術館では「しんかい6500」の原寸大モックアップ(完成品に近いサンプル)や様々な模型や標本など、盛りだくさんの展示でした。

その後は、水槽で飼育されている深海生物を見学し、潜水調査船整備場では「しんかい6500」の整備中の貴重



な姿を見ることができました。不思議な内部構造を目の当たりにして、質問が飛び交っていました。

地域の社会資源への理解を深め、参加者の知的好奇心を強く刺激する有意義な視察となりました。

JAMSTECの皆さま、本当にありがとうございました。



浜見台一丁目自治会

昔「とんびヶ丘」と呼ばれた山の上にあります。

北には、ランドマークタワーやベイブリッジ、スカイツリーが遠望されます。町内はマンションを含め300近い世帯で構成されています。

隣接する地域も多く、船越八丁目から長浦湾へ通じ皆ケ作、追浜東町、榎戸へも行くことができます。さらに、縦走して鷹取山へも登れます。

高台後発開発地のため、当地の最大の難点は交通の便でしたが、沢山の方々にご尽力をいただき「ハマちゃんバス」が運行され、難問が解消されました。

子ども会や寿会も活発に活動して、自治会の活動に寄与しています。これからも和気藹々の活動を続けていきたいと思っています。

感謝状

左記の方々に功労者表彰・感謝状が送られました。

日本赤十字神奈川県支部表彰 奉仕団員功労

- 追浜本町 加藤 修
- 追浜町 飯島多加子
- 浦郷町 今村 恭啓
- 追浜東町 岡村 昭
- 浦郷町 工藤 伸
- 追浜東町 羽生田信良
- 追浜町 平野美千子

令和5年度 共同募金

8,464件
4,207,635円
(令和6年4月現在)



ご協力ありがとうございました。